

第七回岐伯青年親善交流団

ブラジル岐卓県人会長一行来市

昨年の七月七日・八日の両日、ブラジル岐卓県人会会長山田充伸氏を団長とする岐伯青年親善交流団一行五名が来訪され、市内の青年たちとの交歓会や市内見学等を行いました。

岐卓県主催の青年交流は、今回で十四回目となり、ブラジルからの訪問団として七団体目となります。今回は、セラピスト日比野由香さん(三三)、同、美容学校生鶴飼ルツシア真由美さん(三三)、の五名の方で、いずれも県出身の二世と三世です。今回来訪されたのは、団長の山田充伸(三三)、同、県人会長をはじめ、パラナ州の医学部大学院生瀬古ジアー美さん(三三)、サンパウロ州の栄養士伊藤パウリーナ美智代さん(三三)、同、



来訪した一行(右から)瀬古、山田、日比野、伊藤、鶴飼さん(友好の碑の前で)

山田団長からお礼の手紙とどく

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。今般岐卓県の招へいによる岐伯青年親善交流研修団一行の錦地訪問の折は、一方ならぬ御交誼御教導に接し、待望の父母の国の姿や若人達との交歓会各地施設の見学と身にあまる御接待を受けましたことは、終生の記念記録として心深く残ると思ひます。衷心より感謝の意を表すると共に厚く御礼を申し上げます。途中恙なく七月二十五日十二時二十分クンビツカ空港に到着致しました。当日は稀な濃霧で四時間も遅着致しました。先は取り敢えず謹んで一言御礼を申し上げます。益々御健康でお活躍をお祈り申し上げます。未筆乍聞係者の皆々様にくれぐれよろしく御伝言下さい。

岐伯交流使節団員として渡伯した市内瀬戸の石原はなえさんをはじめ七名の青年たちが出席しました。市内の青年は過去に実習派遣で渡伯した方や、ブラジルに親しむ会講座の受講生たちで、いずれも伯国に非常に興味を抱いた青年たちだったため、積極的な意見交換がなされました。

その後、三菱電機中津川製作所へ工場見学にでかけました。三菱電機では、桂川総務課長さんから会社の概要説明をうけ、早速工場見学を行いました。流し作業「友好の碑」の前で記念撮影

夜明けの森では市の木「こうやまき」を記念植樹して友好の証としたあと、昭和五十六年にレジストロ市からジョゼ・デ・カルバリーヨ市長一行が来市されたのを記念して建立された

三菱電機(株)中津川製作所にて



記念樹の前にて

その後、記念品の交換、名刺の交換などを行ない、来日しての感想、ブラジルの現況、渡伯した当時の思い出等を語り合い、最後に再会を期して堅い握手を交わし二時間余の歓迎会を閉じました。

また夜は、昼食会に参加した市内の青年達が集まり、再び盛大な交歓会が行なわれました。やはり同世代という事もあって、様々な会話の中から一層友情を深める事ができたようでした。当市を訪されたもので、高橋さん御夫妻と角谷さん(二女)御夫妻の計四名で来市されました。

日比野さんは「見るもの、聞くもの何でも感激。一生忘れられない思い出になりました。また、日本の製品は大変優れているので、ショッピングもしたい。などと述べられ有意義な日本での生活を約束されました。

また、市内での昼食の際には、ブラジルの現況を次のように述べられました。「ブラジルでは昨年、七%を上回る実質経済成長を達成、貿易黒字も百二十四億ドルにのぼったが、一方でインフレが二三%と史上最高を記録した。政府の新経済政策の内容は、賃金・物価の凍結、三ヶタのデノミ、さらに新通貨「クルザード」への切替え(一、〇〇〇クルゼイロを一クルザードとする)などで大変な時期を迎えている。また昼食の後で、日本の食べ物はずべて美味しいと言われたのがとても印象的でした。

市内青年たちとの交歓会



午後二時頃、豊橋・岡崎の友人宅へ向かわれ、五月二十五日帰国されました。

昭和六十二年度会員募集について

中津川市姉妹都市友好推進協会では、ただいま会員を募集しています。この協会の活動を盛り上げるため、レジストロ市民との交流の拡大を図るため、一人でも多くの皆さんがご加入下さい。

中津川市役所秘書課内
TEL 六六一一一
内線 三〇七

デノミ実施

ポルトガル語講座開設

昨年十一月七日から十二月十九日まで、毎週金曜日六回にわたり第四ポルトガル語講座を開講しました。

この講座は、姉妹都市友好推進協会と中津公民館とが開設したもので、今回で四回目をむかえました。



講座の様子正面 三浦マリエ氏 (中津公民館にて)

講師は、東京のブラジス社で勤務されている日系二世の三浦マリエ先生で、一昨年、昨年に引き続き今年で三回目の講師を引き受けていただきました。

今回は二十三名の方が毎週熱心に受講され、中にはビデオを使って説明

第四回講座を受講して

今回の講座を受講された皆さんに①第四回ポルトガル語に親しむ会を受講して②今後の講座に望む事と題したアンケートに協力していただきました。(敬称略)

①楽しく勉強させて頂きました。初回と四回目と、受講回数に差があり大変やりがいかつたと思っております。先生が大変上手でよく解りました。

②夏などに開設して頂く大変嬉しいですね。最後のポルトガル料理は、非常に楽しみなのですが、先生に負担がかり申し訳ないと思っております。ポルトガル料理だけでなく、親睦会と

①短時間すぎるので、もう少し時間があればいいなあと思いました。夏休みなどに、みんなでレクリエーションや小旅行などができるといいと思います。

②講座時間が短かすぎるので、もう少し長い方がいいと思います。また、講習時間は集中しているために入ったことでも、少し時間をとおくと忘れてしまう(独学は予習、復習の意志が弱いのでむずかしいため)のとを、二回目の今度はイヤというほど痛感しました。

②日常会話の出来る人とイロハもわからない人と

五月二十六日レジストロ市から中村嘉郎さんが来訪されました。

中村さんは、昭和六十年に日伯親善青少年交歓使節一行の一員として当市を訪れた「中村ルシャマリ」さんの父親で、

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

大変お世話になりました レジストロ市中村さん来訪

中村さん、昭和六十年に日伯親善青少年交歓使節一行の一員として当市を訪れた「中村ルシャマリ」さんの父親で、

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

中津川市長殿 私の愛する貴国を訪れる私共の友人を通じて、常に貴殿とのコトクトクを維持できること切なおもてなしを受け、ただ感謝あるのみです。太田様にお逢い出来本当に良かったと思っております。百耳は一見にしかず、人と人のふれあいで始めて真の友好が出来るのではないのでしょうか、どうか一度御家族でブラジルに遊びに来て下さい。お待ちしております。

中村 嘉郎

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

お礼に訪れ、

レジストロ市の高校生 メッセージ携え来市

レジストロ市のバンデランデス高等学校二年生の大迫国くん(十五才)が、伯国鹿兒島県人会の里帰り一行の一人として来日し、一月八日市役所を訪れました。

大迫国くん(日系二世) 長を表彰訪問されました。

大迫くんは、小池市長に両市の友好親善のあいさつをし、現地から小池市長や市民あての新春メッセージ三十二通を手渡しました。

数学が得意でスポーツはサッカーという大迫くんは「雪を見るのは初めてです。スキーをやってみよう」といい、「日本のお米は、ブラジルよりおいしかった。フレグらりもうまかった。長いトンネル(中央道恵那山トンネル)には驚いた」と話していました。

大迫くんは、この後、鈴木社長の案内で市内を見物。夕方、東京へ向かい東京で再び里帰り組一行と合流して鹿兒島へ行き、二十七日帰国されました。



小池市長にレジストロ市の様子を説明する大迫くん

隅田 弘さんから 悲しい便り

レジストロ市の日本人会長である隅田弘さんから悲しい便りが届きましたので、お知らせ致します。

十一月二十四日 隅田 弘

故ジョセ・デ・カルバリーヨ元市長は、エルザ・オルジーニ・デ・カルバリーヨ現市長の夫で、昭和五十五年八月姉妹都市提携を結んだ時の市長さんです。

昭和五十六年八月には、親善使節団二十七名の団長として来市され、当市から特別栄誉市民賞を受けたのを始め、友好の碑除幕式、レジストロ通り命名式、記念植樹等を行なわれ、両市の友好と親善を深められました。心から御冥福をお祈りいたします。



熱心に講座を受講されるみなさん

昭和六十一年度のできごと

●四月十二日 レジストロ市の高橋晴海氏御夫妻が二女(名古屋在住)の結婚式のために来日の折来訪

●五月二十六日 レジストロ市の中村嘉郎氏(昭和六十一年度日伯親善青少年交歓使節団員)折来市

●七月七日(七月八日) 第七回岐伯青年親善交流一行五名(山田充伸、約百冊送付)

●七月十八日(八月十五日) 中津川市立阿木高校三年の近藤祐司君が鈴木名にクリスマスカードを送る

●四月十二日 レジストロ市の高橋晴海氏御夫妻が二女(名古屋在住)の結婚式のために来日の折来訪

●五月二十六日 レジストロ市の中村嘉郎氏(昭和六十一年度日伯親善青少年交歓使節団員)折来市

●七月七日(七月八日) 第七回岐伯青年親善交流一行五名(山田充伸、約百冊送付)

●七月十八日(八月十五日) 中津川市立阿木高校三年の近藤祐司君が鈴木名にクリスマスカードを送る

お知らせ

姉妹都市事業についての意見ご希望をお寄せ下さい。

事務局 中津川市役所秘書課

TEL 六六一一一(内線三〇七)